



2024年2月29日

各位

会 社 名 琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社  
(コード番号 7364 TOKYO PRO Market)  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 早川 周作  
問 い 合 せ 先 取締役 CFO 管理本部長 田野口 浩太  
(TEL 098-851-8701)

## 継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ

当社は、本日公表の2023年12月期決算短信における継続企業の前提に関する事項について、下記の通り注記することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度に営業損失213,307千円、経常損失212,981千円、親会社株主に帰属する当期純損失265,304千円及び営業キャッシュ・フローのマイナス149,277千円を計上し、当連結会計年度においても営業損失95,815千円、経常損失93,133千円、親会社株主に帰属する当期純損失95,660千円を計上、営業キャッシュ・フローは62,685千円の支出となりました。その結果、当連結会計年度末において238,112千円の債務超過となりました。

これにより、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

#### (業績改善への対応策)

当社グループは、当該状況を解消すべく、2023年5月より新規事業として経営者の悩みを解決し、参加メンバーの事業成長を支援するスポーツを軸とした会員制経営者コミュニティ「アスティーダサロン」の運営を行っており、当連結会計年度末日時点における有料会員数は183社となりました。当事業におけるサービスをさらに拡充させ、会員数の増加と顧客満足度の向上を図ることにより、経営基盤を強固にしております。

さらに、アスティーダサロン事業の運営による営業損益及び営業キャッシュ・フローの改善に伴い、琉球アスティーダ、九州アスティーダ両チーム運営の投資余力を生み出し、ビジネス上の相乗効果を図ることで、スポンサーやファンの基盤をより強固なものにしてまいります。

しかしながら、上記の対応策等は実施途上であること、特にアスティーダサロンの運営におきましては、将来の売上見込についての予測を含んでおり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結計算書類は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結計算書類には反映しておりません。

以上